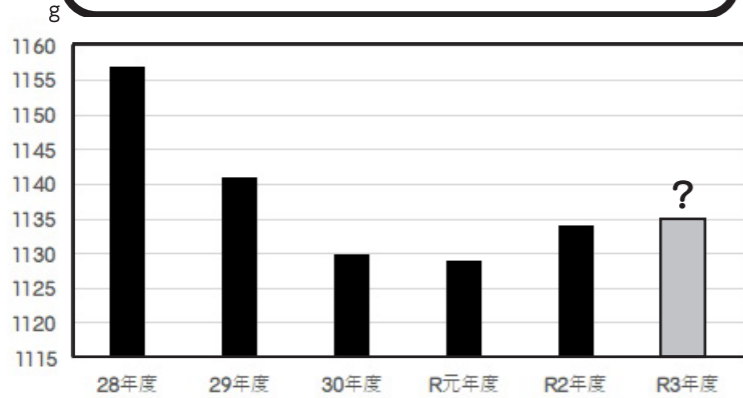


暮らしの目線から、市の令和4年度予算を見てみました



一人当たりのごみ量が増えてきています



最近、市民一人当たりの1日のゴミ排出量が増加に転じています。3年度の集計はまだですが、やはり減らない見込みです。全国平均は920g(R元)ですから、各種のゴミ減量化の施策の効果は見えません。

しかも、高山のゴミ焼却施設の市の負担金は今年も9.8億円。ゴミ袋の販売などによるゴミ処理手数料が3年連続増えて歳入増になりそうなもの、笑えない話です。

気候危機打開はどうなる？



2050年二酸化炭素・排出実質ゼロの都市宣言を市長がしたのは良いのですが、その道筋は見えません。プラグインハイブリットの公用車を買うぐらいしか目につきません。

eco ライフ促進支援補助金 = 節電・省エネのシステムなどを購入した時の補助金です。対象、件数を増やしたのは良いのですが、結局、応募多数なら抽選。補正予算を組んで、申請者すべてに補助するぐらいの構えがなければ、本当に二酸化炭素はゼロになるのでしょうか。

共産党は期限を切って、釧路石炭火発と日本製紙の火発を廃止するよう主張しました。

介護の人材確保。賃上げが一番ですが、自治体の取り組みも大切です。

「介護施設で助手をしながら資格取得できる制度」を、ずっと前にいち早く提案したのも村上議員。現状は深刻、人手不足で閉鎖する施設が続出です。

「介護人材確保に16億円もある基金を活用して事業を拡大せよ」と求めたのが去年の9月のこと。

今回の予算では、①紹介会社を通して介護人材を確保した施設への補助 ②初任者研修などの資格取得助成 ③有償ボランティアをケアサポーターとして雇用した時の助成 ④職場見学会の広報と、大幅に内容が拡大。基金も活用して事業費も1100万円増えました。

介護の人材確保に大幅に予算増

断固抗議

音別町認知症高齢者グループホーム
9月議会では「年度内に再開のメドをつけたい」と答えながら・・・

わずか半年で、「廃止」に方針転換



基金を活用すればもっと下げられる!!

今年の国保料は一世帯5千円ほど引き下げになりました。でも、介護分も含め

一世帯平均で
140,510円

重たい負担に変わりはありません。たまった基金は11.6億円。1億円を取り崩しただけで、あと4400円下げられます。

未就学児の保険料均等割をなくすならあとわずか428万円。まだまだ努力は足りません。

病児保育が始まります

病院の勤務医の方が、新栄町で「病児保育」施設をつくります。子どもが病気になって保育園に預けられないときに子どもを預かってくれます。保育士のほかに看護師も常駐、働く親にとってはありがたい施設です。

でも心配もあります。国の調査でも、病児保育は軒並み赤字、100万円ぐらいの赤字がざらです。普通なら後ろ盾となる病院や大きな保育園が赤字を補填するのですが、今回の施設は全くの個人経営。



国保料

4年度の市の予算。共産党議員団は、①マイナンバーカードの普及に前のめり ②新型コロナウイルスの抗原検査キットをもっと揃えて感染防止に活用すべき ③子どもの医療費無料化が大きく遅れている ④小中施設一体型の義務教育学校の推進で学校の統廃合が進みかねない ⑤駅高架や西港などムダな大型工事が突出 ⑥水道料金の値上げなどを理由に、一般会計予算などに反対しました。

村上議員は父子家庭。子どもの病気で仕事に行けなかったことが何度もありました。経営が安定するよう、市の財政支援を求めました。